

# 709 定期演奏会

The 709th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

沖澤のどかの  
〈オペラ・コンチェルタンテ〉  
「コジ・ファン・トゥッテ」が  
定期的に登場!

オペラ  
コンチェルタンテ  
Concertante

開演前は指揮者による  
「プレトーク」で  
お楽しみください。  
午後2時頃から  
字幕作成の  
桂米園治氏  
も登場!

「プレトーク」は  
ホールステージ上  
にて開催します。

指揮：  
沖澤 のどか  
(常任指揮者)

Conductor:  
Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

合唱：京響コーラス  
(合唱指揮：森脇 遼)  
Chorus: Kyoto Symphony Chorus  
(Chorus Master: Ryo Moriawaki)

©京都市交響楽団

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

入場料 2026.1.23金から発売

●6,000円 ●5,500円 ●4,500円 ●3,500円 ●3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 [一般発売に併せて販売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際には年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご持参ください。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 [当日残席がある場合のみ発売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円 ●1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べませんが、座席指定はできません。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2026年3月13日までに京響075-222-0347へお申込みください)

◆10枚以上のチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催：京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都 制作協力：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

# 京都市交響楽団

2026.3.20金祝

Fri(national holiday), March 20, 2026 / 2:30PM

開演 午後2時30分  
(午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

モーツァルト：  
歌劇  
「コジ・ファン・トゥッテ」  
K. 588

(演奏会形式/全2幕/イタリア語上演/  
日本語字幕つき)

Mozart: Così fan tutte, opera in 2 acts K. 588 (concert style)

◆字幕作成=桂 米園治  
※公演時間=約3時間30分(休憩あり)



フィオルデリージ：  
隠岐 彩夏  
Fiordiligi: Ayaka Oki  
©Y.Hanai



ドラベッラ：  
山下 裕賀  
Dorabella: Hiroka Yamashita  
©Yoshinobu Fukaya



フェランド：  
糸賀 修平  
Ferrando: Shuhei Ito  
©T.Tairadate



グリエルモ：  
大西 宇宙  
Guglielmo: Takaoki Onishi  
©Marco Borggreve



デスピーナ：  
鵜木 絵里  
Despina: Eri Unoki  
©Yoshinobu Fukaya



ドン・アルフォンソ：  
宮本 益光  
Don Alfonso: Masumitsu Miyamoto  
©Tomoko Hidaki

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車  
出口1・3番から南へ徒歩約5分

©京都市交響楽団

助成：公益財団法人アフィニス文化財団



チケット  
ご予約

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201  
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>  
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 280-857  
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 53033

お問い  
合わせ

京都市交響楽団075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →  
京都コンサートホール075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>  
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。  
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

ROHM  
SEMICONDUCTOR

# The 709th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第709回  
定期演奏会

オペラ  
マンチェルタナ  
Concertante

2023年7月の沼尻竜典指揮「サロメ」以来2回目となる京響の〈オペラ・コンチェルタンテ〉は、モーツァルトに定評のある沖澤のどかのプロデュースで歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」をお贈りします。多くの指揮者が上演を熱望する美しい音楽でいとられた名作

を、音楽に集中できる演奏会形式でお楽しみいただきます。歌手陣は今が旬の顔ぶれが並びます。モーツァルト作品の中でも独特の輝きを放つアンサンブルの世界に心ゆくまで浸る贅沢な時間をお届けします。

指揮

沖澤 のどか (常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)



©Felix Broede

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝。第28回(2020年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)斎藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン響2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。『青い海と森の音楽祭』芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響ヘデビュー、エストレマドゥーラ響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオーストラリア・フィルにも登場する。日本でも読響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール『メリー・ウィドー』、2025年2月にはビゼー『カルメン』を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC.エーヴァルトとH.D.バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。

フィオルディリッジ

隠岐 彩夏 (ソプラノ)

Fiordiligi: Ayaka Oki (Soprano)



©Y. Hanai

歌曲やオラトリオに幅広いレパートリーを誇り、多くのコンサートでソリストを務めるソプラノ歌手。その清冽かつ印象的な声は、聴衆の心を捉えて離さない。岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院修士、博士後期課程修了。文化庁在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。第20回愛ドイツ歌曲コンクール第1位、文部科学大臣賞受賞。第85回日本音楽コンクール声楽部門第1位、岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞を受賞。三菱地所賞、東奥文化選奨受賞。パッハ「マタイ受難曲」『ヨハネ受難曲』『ロ短調ミサ』『クリスマスオラトリオ』、ヘンデル「メサイア」『ソロモン』『セメレ』、ハイドン「天地創造」『四季』、モーツァルト、フォーレ、ブラームス、ドヴォルザーク「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリヤス」『バウリス』、マーラー「復活」『交響曲第4番』等多くの公演でソリストを務める。キングレコードよりCD「愛しの夜」リリース。2025年生まれ故郷の青森でスタートした「青い海と森の音楽祭」(芸術総監督:沖澤のどか)音楽主幹。2025年青森県文化賞受賞。

フェランド

糸賀 修平 (テノール)

Ferrando: Shuheii Itoga (Tenor)



©T. Tairadate

武蔵野音楽大学大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊、その後ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生として渡独。第1回エンツォ・ソルデッロ国際コンクールで入賞し、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵役を獲得。イタリア・クーネオにて同役を演じた。新国立劇場での活躍も目覚ましく『ファルススタッフ』『トスカ』『カルメン』等の他、『ピーター・グラ임ス』では急遽ボブ・ボウルズにて出演、好評を博す。ロームシアター京都柿落し公演『フィデリオ』ヤッキーン、二期会「こうもり」アルフレード、『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、C.ミョンファン指揮『蝶々夫人』ゴロー、オペラ夏の祭典「トゥーランドット」ボン、OMF『フィガロの結婚』クルツィオ等多数出演。地域創造公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)登録アーティスト。東京藝術大学非常勤講師。26年1月全国共同制作オペラ『愛の妙薬』ネモリーノで出演予定。二期会会員。

デスピーナ

鵜木 絵里 (ソプラノ)

Despina: Eri Unoki (Soprano)



©Yoshinobu Fukaya

東京藝術大学大学院及び二期会オペラスタジオ修了。イタリア政府給費生としてミラノ市立音楽学校に留学。マンチネッリ劇場『ファルススタッフ』ナンネッタ、ミュージカル『キャンディード』(佐渡裕指揮・宮本亜門演出)クネゴンデで出演する他、二期会「コジ・ファン・トゥッテ」(2006年度文化庁舞台芸術大賞受賞)デスピーナ、『ホフマン物語』オランピア、新国立劇場『魔笛』パバゲーナ、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル等多数出演。東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C(ビートゥーシー)」に出演し、好評を博す。アウトリーチや教育プログラムにも積極的に取り組んでおり、バリアフリーコンサート「みんなの音楽会」等幅広く活躍。テレビ朝日「題名のない音楽会21」、NHK BSプレミアム「クラシック倶楽部」、NHK-FM「名曲リサイタル」等メディアへも出演。ソニー音楽財団「子供のためのクラシック」登録アーティスト。桐朋学園大学及び洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員。

ドラベッラ

山下 裕賀 (メゾ・ソプラノ)

Dorabella: Hiroka Yamashita (Mezzo Soprano)



©Yoshinobu Fukaya

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程を首席修了。同大学院博士後期課程単位取得。武蔵舞奨学金を得て、在学中にウィーンへ短期留学。2023年第92回日本音楽コンクール声楽部門第1位および聴衆賞、第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞を受賞。2024年には、藤原歌劇団創立90周年記念公演『ラ・チェネントラ』アンジェリーナで出演。2025年8月には新国立劇場による創作委嘱作品 細川俊夫「ナターシャ」(世界初演)アラトに抜擢。11月には日生劇場「サン・ドリュオン」シャルマン王子で出演。これまでに『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、『セビリアの理髪師』ロジータ、『ナブッコ』フェネーナなどで出演。コンサートでは、ヤナーチェク「グラゴル・ミサ」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、ベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」などでソリストを務める。日本声楽アカデミー会員。令和6年京都市文化芸術きらめき賞受賞。

グリエルモ

大西 宇宙 (バリトン)

Guglielmo: Takaoki Onishi (Baritone)



©Marco Borgareve

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リック・オペラにてデビュー。オーケストラ声楽作品のレパートリーはバロックから現代曲まで幅広く、カーネギーホールにて「カルミナ・ブラーナ」、シベリウス「クレルヴォ」、『ドイツ・レクイエム』のソリストを務め、ベートーヴェン交響曲第9番のバリトン・ソロは定評がある。オペラでは2019年にセイジ・オザワ松本フェスティバルにて『エフゲニー・オネーギン』の題名役で日本デビュー以来、国内外の歌劇場で活躍。昨今では『ドン・ジョヴァンニ』、『コジ・ファン・トゥッテ』、『魔笛』で好評され、ダラス・オペラ『ラ・ボエーム』、ミネソタ・オペラ『セビリアの理髪師』で各紙に絶賛された。CDは「詩人の恋」(ピアノ:小林道夫)をBRAVO RECORDSよりリリース。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞、令和5年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

ドン・アルフォンソ

宮本 益光 (バリトン)

Don Alfonso: Masumitsu Miyamoto (Baritone)



©Tomoko Hidaki

東京藝術大学大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。03年A.プレヴァン『欲望という名の電車』スタンリーで一躍注目を集め、以降、二期会「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、新国立劇場「鹿鳴館」清原栄之輔、日生劇場「メデア」イヤソン、神奈川県民ホール『魔笛』パバゲーノ等話題の公演に数多く出演。神奈川県民ホールおよび二期会「金閣寺」では溝口にて主演、高い評価を得た。古典から現代、邦人作品までレパートリーは幅広い。25年7月グスターボ・ドンダ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団特別公演「エクモント」に語り役として出演するなど、演奏のみならず作詞、訳詞、執筆、演出等でも多彩な才能を発揮、創造性豊かなステージで聴衆を魅了している。MOZART SINGERS JAPAN(MSJ)主宰。桐朋学園大学教授、聖徳大学客員准教授、東京藝術大学非常勤講師。26年2月MSJ「ドン・ジョヴァンニ」で主演・構成・演出を務める。二期会会員。

合唱 京響コーラス

(合唱指揮:森脇 涼)

Chorus: Kyoto Symphony Chorus

(Chorus Master: Ryo Moriwaki)

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響音楽監督&常任指揮者・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更。創立者の井上道義を創立カベルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生を対象とした音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など、多彩な活動を行っている。2023年常任指揮者に沖澤のどか、2024年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。